

朝霞市学校施設長寿命化計画（第2期）（素案）に係る市民コメント 実施結果

1 結果概要

(1) 内容	令和8年度を計画の第2期開始年度とする朝霞市学校施設長寿命化計画について、素案がまとまったことから、市民に御意見を募集しました。
(2) 募集期間	令和7年11月20日（木曜日）から令和7年12月22日（月曜日）まで
(3) 意見提出の対象者	(1) 市内に住所を有する方 (2) 市内に事務所または事業所を有する方 (3) 市内に存する事務所または事業所に勤務する方 (4) 市内に存する学校に在学する方 (5) 朝霞市学校施設長寿命化計画について利害関係を有する方
(4) 公表した資料	・朝霞市学校施設長寿命化計画（第2期）（素案）概要 ・朝霞市学校施設長寿命化計画（第2期）（素案）
(5) 意見提出者数及び意見数	4名、10件

2 提出された意見等

提出された意見及び意見に対する市の考えは、次ページ以降に掲載しています。

朝霞市学校施設長寿命化計画（第2期）（素案）に係る市民コメント

番号	頁	見出し等	意見	市の考え	修正
1	45	第6章 学校施設の改築や改修、維持管理の効率化手法の事例 1. プールの外部委託化・集約化	<p>プール施設につきましてあくまで事例ですが私が育った「柏市立柏第七小学校」について、プール授業は年3回に減らし、自校のプール施設は解体し（校庭拡張・第3校舎増設に充当）、授業は柏市内の民間（セントラルウェルネスクラブ24 柏）にて実施しております。プール授業そのものの考え方について色んな意見があるかと思いますが、今回ご提示頂いたⅠ～Ⅳからの選択肢であれば、「Ⅳ施設・指導員包括活用型」を希望します。①思春期で多感 ②ジェンダーへの配慮 ③死角によるいじめ・不良行為誘発リスク等 ④死角による犯罪等（朝霞市立第二中学校での白骨化遺体） ⑤プール給水栓また閉め忘れ（横浜市立もえぎ野小学校）等を鑑みると、プールは座学（水難、海での遊泳禁止・離岸流の怖さ、基本動作・・・）で重要事項を学習し、実技は実施しない選択もあるかと思えます。特に②やプールがどうしても苦手で不登校や欠席に繋がってしまうリスクも考えると、選択制にして希望する児童・生徒には「わくわくドーム」や「わびあ（和光市）」、民間（ルネサンス北朝霞 等）で利用出来るチケットを配付（レベルに合わせて指導を受けられる）して、実施後に実施内容を報告をしてもらう（あくまで案です）等のソフト面での対応も検討して頂ければと存じます。その上で、プール施設は全面的に廃止・解体し、そのスペースを増改築や校庭スペースの確保、土地売却、別施設等への充当・転換を希望します。</p> <p><参考> 令和6年度柏市民間プール開故事業 https://www.city.kashiwa.lg.jp/sports/2024minkanpool.html</p> <p>【商品・サービス情報】柏市民間プール開故事業のご案内 https://oaksbest.co.jp/blog/2024/07/22/post1411/</p>	<p>今後の学校施設の改築や改修、適切な維持管理に当たっては、従来の踏襲をしていくだけでなく、新たな視点をもって効率的に実施していくことが必要だと捉えています。</p> <p>また、学校施設におけるプールの在り方につきましても、施設面のほか、水泳指導の手法など様々な角度からの検討が必要と考えておりますので、今後、先行的な取り組み事例や効果などを参考にしながら調査・研究していきます。</p> <p>いただいたご意見及び情報は、今後の改修等の検討時の参考にさせていただきます。</p>	無
2	34	第5章 学校施設の長寿命化に向けた改修計画 3. 長寿命化改修の優先度 (2)長寿命化改修の優先順位	<p>3位に朝霞第七小学校、4位が朝霞第八小学校と上位にあり、両校は隣接しております。今回は長寿命化改修での対応ですが終局系（建年80年超による建替え）として、こちらも私の出身地の事例で恐縮ですが、柏第一小学校・旭東小学校・柏中学校を1つの学校へ集約・統廃合する方向です。</p> <p>この事例に倣い、小学校・中学校も1つの学校へ集約し、余裕が出来た土地について売却だけでなく、わびあ（和光市）のようなプール・教育施設等の設置も検討して頂けると幸いです。</p> <p><参考> 柏中学校区での義務教育学校設置を目指して https://www.city.kashiwa.lg.jp/kyoikuseisaku/tekiseihaichi/secchikenntou.html https://www.city.kashiwa.lg.jp/documents/35955/050908leaflet.pdf https://www.city.kashiwa.lg.jp/kyoikuseisaku/tekiseihaichi/kashiwa_setsumeikai.html#dougai</p>	<p>本市の児童生徒数は、当面は増加傾向が続きますが、将来的に児童生徒数の減少や通学区域毎による児童生徒数の片寄りが生じた場合は、通学区域の見直しや統廃合などを検討していきます。</p> <p>また、教育課程の連携による教育効果を高める上で、小中一貫教育についても全国で様々な形態で取り組まれていることから、先進事例を調査・研究していきます。</p> <p>今後の改築の際には、いただいたご意見及び情報を参考に各学校の改築計画で検討していきます。</p>	無

番号	頁	見出し等	意見	市の考え	修正
3	31	第5章 学校施設の長寿命化に向けた改修計画 2. 改築の優先度 (2)改築の優先順位	<p>今後、児童・生徒が2029年以降減少傾向（予測値）に転じることから、構造物の劣化状況や条件・制約により適用不可もあるかもしれませんが、リファイニング建築等によるハード維持（維持コスト低減）や、小・中一体化、終局系を見越した統廃合（片寄せ）も視野に、統合する側は改築・増築、統合される側は長寿命化（例として、将来的に中学校は小学校側に集約・一体化）を検討する等、様々なシミュレーションから最適なコスト提案や児童・生徒の安心安全な登下校・学校生活への課題対応等を検討および市民（主に保護者、近隣住民）から意見照会等を実施して頂けますと幸いです。</p>	<p>本市の児童生徒数は、将来的には減少傾向に転じると想定していますが、現在過大規模校が3校あるなど学校施設の諸室等に余裕がない状況です。そのため、第2期の計画期間中に統廃合の方向性を検討することは難しいと考えています。</p> <p>しかしながら、計画は財政状況や劣化状況のほか、将来的な施設の方向性の検討結果等を受けて見直しを行うこととしていますので、その際には関係者からのご意見もお聞きしながら検討していきます。</p>	無
4	-	全体	<p>色々とご検討頂いているところかと存じますが、 ①小学校、中学校単独ではなく、小学校・中学校一体化によるスリム化（重複設備の解消、稼働率向上、小・中での自校給食設備新設）を見越したランドデザインも加味した優先順位付け ②プールの民間利用だけではなく、学校プールを更改していく場合は「わびあ（和光市）」のような市民にも一般利用出来るような形態・市民サービスの検討。また、小中学校の一体化で空きスペースが確保出来た場合の、民間フィットネスクラブ等の誘致活動。 ③2029年以降の児童・生徒の減少を見越した更改計画（学区の見直し、片寄せ等）も加味して頂ければと思います。（今回の市民コメントも加味はした上での意見照会で、ご提示が難しい状況でしたらすみません）</p>	<p>貴重なご意見、誠にありがとうございます。 いただいたご意見及び情報は、今後の改修等の検討時の参考にさせていただきます。</p>	無

番号	頁	見出し等	意見	市の考え	修正
5	—	<p>第3章 学校施設を目指すべき姿と課題 2. 学校施設の課題 [課題4]環境に配慮した施設整備</p> <p>第4章 学校施設整備の基本的な方針 1. 学校施設整備の方針・整備水準 (1) 改修等の基本方針 ウ. 教育環境の充実</p> <p>第5章 学校施設の長寿命化に向けた改修計画 5. 長寿命化によるコスト試算の検証と効果 (3) 長寿命化の効果 【効果2】教育環境</p>	<p>弊社は、埼玉県内の断熱に詳しい工務店の集まりである「さいたま断熱改修会議」に所属しております。さいたま断熱改修会議HP https://www.saitama-dannetsu.com/ この団体の活動目的は、既存住宅を断熱改修して快適で健康にそして省エネな暮らしを提供することです。一方で、あるご縁から学校の断熱改修にも関わらせていただきました。（本来の目的ではないので積極的には行っていません。）</p> <p>昨年と今年、さいたま市立芝川小学校・さいたま市立大宮小学校・上尾市立東町小学校・都内私立小学校など教室断熱改修のプロジェクトに参加しました。断熱というときと寒さ対策と捉えがちですが、学校の断熱改修のほとんどが夏の暑さ対策です。特に真夏の最上階の教室は、屋上のスラブのコンクリートが熱せられ、エアコンを使っても30℃を超える室温となり子供たちの学校での本来の目的である勉強に集中できず、体調を崩したり熱中症になることもあります。この教室の暑さを感じているのは子どもたちばかりではなく、教師もまた同じように暑さに苦しんでいます。この暑さを防ぐために、教室の天井裏に高性能な断熱材を入れたり壁に断熱材張り付けたり、また、室温上昇の原因の一つでもある窓からの日射による影響を防ぐために日射遮蔽パネルの取り付けなど子供たちの手で建築のプロたちと一緒にワークショップとして実施しました。事例はさいたま断熱改修会議ホームページ内にあります。 https://www.saitama-dannetsu.com/project/?cid=19</p> <p>環境の改善とは別に今回の学校施設長寿命化計画に寄与する要素としては、教室の断熱化による冷暖房負荷の低減により教室に設ける空調設備の小型化、更新時の経費削減が挙げられます。家庭用もしくは、業務用でも小型のエアコンであれば住宅で各居室に取り付けるエアコンと同じように教室ごとに1セットのエアコンとすることにより、更新が必要となったものだけを必要な時に替えられ、集中制御による大規模システムのように元が壊れて全体が使えなくなるというリスクも分散できます。（朝霞市の学校で現在どのようなシステムを採用されているかは把握しておりません）また、万が一の災害時の避難場所としての活用でも、極端な暑さ寒さを防げます。</p> <p>同じく災害時の避難場所としては体育館が想定されますが、こちらも同様に断熱化することにより避難した人たちが酷暑・極寒から守ることができますし、空調設備も小型・少数化できます。ある機会に、3中の体育館を訪れた時に大変な数のエアコンが設置されているのを見て驚きました。確かに厳しい暑さから子供たちを守るためには必要な設備だと思いますが、一方でエネルギーを垂れ流している状況が容易に想像できました。そして、この機械が壊れたら膨大な経費が、さらに定期的にかかるのだらうと思いました。国内では、岩手県紫波町に建設されたバレーボール専用体育館「オガールアリーナ」が高断熱体育館として有名です。https://toyokeizai.net/articles/-/231394, https://ogal.info/ こちらは新築ですが、既存建物でも断熱改修は可能です。 私の観点は学校の断熱改修で子供たちの学習環境の改善ですが、施設の長寿命化として設備の小型化、少数化で参考になればと思います。建物の断熱化は、・利用者の快適性向上・災害等非常時の利用者の身体的負担の軽減・設備の小型化・少数化・上記による、ランニングコスト削減・同じく、更新時の経費削減・省エネ、CO2排出量削減設備は定期的な更新が必要ですが、断熱は建物解体時まで効果が持続します。今回の趣旨と違っていましたらご容赦下さい。</p>	<p>市での考え</p> <p>昨今の猛暑への対策は学校施設における重要な課題として認識しており、校舎の最上階の教室の天井裏への断熱材の設置や遮熱カーテンの設置などを適宜実施しているところです。 建物の断熱性能の向上や省エネタイプ空調設備への切り替えなどについては、長寿命化改修や大規模改修の際に検討していきます。 検討に当たっては、いただいたご意見及び情報を参考にさせていただきます。</p>	無
6	—	全体	<p>小中学校などの体育館改修工事をする場合 同じような改修工事をするのではなく、体育館毎にある程度専門性を持たせた改修工事が出来ればと思います。 例えば卓球台等が簡単に出し入れが行える卓球体育館やバドミントンが夏季に冷風ではなく、プレート式の冷暖房機、剣道など武道用に畳を簡単に敷くことが出来る施設。 また、教室を含めて施設の共通機能として、災害時にいかに使い易い施設となるかが一番大事な施設長寿命化だと思えます。</p>	<p>いただいたご意見及び情報は、今後の改修等の検討時の参考にさせていただきます。</p>	無

番号	頁	見出し等	意見	市の考え	修正
7	一	全体	<p>1. 意見提出の趣旨</p> <p>朝霞市学校施設長寿命化計画（第2期）（素案）は、老朽化が進む学校施設について、改築および長寿命化改修を計画的に実施し、安全・安心な教育環境を確保するとともに、施設整備費の平準化を図るという点において、全体として妥当かつ現実的な計画であると評価します。</p> <p>本意見は、本計画の基本的な枠組みや方向性を支持した上で、計画期間が10年間と中長期に及ぶことを踏まえ、実行段階で生じやすい課題をあらかじめ整理し、建物としての長寿命化効果を確実に発揮させるための補足的な提案を行うものです。</p> <p>2. 【問題点①】計画期間が長期であることによる実行段階のブレ</p> <p>本計画では、社会情勢、建設コスト、施設の劣化状況等を踏まえ、必要に応じて見直しを行う旨が示されています。一方で、実行段階においては、資材価格や労務費の変動、想定外の緊急修繕、年度内執行や入札不調等が重なることで、当初想定した優先順位や事業スケジュールが実質的に崩れやすいというリスクがあります。</p> <p>【解決策（具体化）】</p> <p>計画の基本的な優先順位は維持しつつ、実施段階においては、施設の安全性、教育活動への影響、施工条件（仮設動線、工事ヤード、工期確保等）、財政負担の平準化といった観点を整理した上で、年度ごとの実施順序を調整する考え方をあらかじめ明確にしておくことが有効であると考えます。</p> <p>【なぜ重要か】</p> <p>計画上の順位と現場での実行可能性の差を制度的に吸収できなければ、結果として最も老朽化した施設への対応が後手に回るおそれがあります。</p> <p>【行政側のメリット】</p> <p>優先順位変更の理由を整理して説明できることにより、場当たりの判断との批判を回避でき、予算編成や工事調整における庁内負担の軽減にもつながります。</p>	<p>改修工事の具体的な方法等については、各学校の状況も踏まえ、市の財政状況等を勘案しながら検討していきます。</p> <p>また、計画の見直しについては、財政状況や劣化状況のほか、上位計画の改訂や将来的な施設の方向性の検討結果等に応じて見直しを行います。</p>	無
8	一	全体	<p>3. 【問題点②】長寿命化改修後の維持管理が形骸化するリスク</p> <p>長寿命化改修は実施自体が目的ではなく、その後の適切な維持管理によって初めて効果が持続します。しかし、改修後の維持管理が従来と同様の事後対応に戻った場合、長寿命化の効果が十分に発揮されないおそれがあります。</p> <p>【解決策（具体化）】</p> <p>長寿命化改修後の施設については、施設台帳、点検結果、改修履歴等を一体的に管理し、点検指摘事項の是正状況、劣化度が高い部位（D評価部位）の推移、突発的な修繕件数の年度推移等を用いて、予防保全の実施状況を定期的に確認する仕組みを設けることが望ましいと考えます。</p> <p>【なぜ重要か】</p> <p>予防保全が機能しなければ、改修間隔が短縮され、結果的にライフサイクルコストが増大するおそれがあります。</p> <p>【行政側のメリット】</p> <p>長寿命化の効果を客観的に説明できるようになり、突発修繕の抑制による財政平準化や、維持管理業務の属人化防止にもつながります。</p>	<p>予防保全の考え方は、この計画を推進していくうえで重要な点ですので、点検結果や改修履歴等の情報を効率よく活用しながら実施していきます。</p>	無

番号	頁	見出し等	意見	市の考え	修正
9	－	全体	<p>4. 【問題点③】学校ごとの仕様差が将来コストを押し上げる可能性 設備更新等の実施にあたり、学校ごとに仕様がばらついた場合、将来的な維持管理や修繕対応の効率が低下するおそれがあります。</p> <p>【解決策（具体化）】 設備更新等に当たっては、メンテナンス性および更新性の観点から、規格品・汎用品の活用を基本とし、学校間で可能な範囲の標準仕様（型式選定や更新サイクルの考え方）を共有することが有効であると考えます。</p> <p>【なぜ重要か】 仕様の多様化は、修繕対応の複雑化や部品調達コストの増加につながります。</p> <p>【行政側のメリット】 修繕・更新対応の効率化、維持管理費の抑制、包括的な施設管理手法との整合性向上が期待できます。</p>	<p>改築工事や改修工事の具体的な方法等については、各学校の状況も踏まえ、市の財政状況等を勘案しながら検討していきます。 検討に当たっては、いただいたご意見及び情報を参考にさせていただきます。</p>	無
10	－	全体	<p>5. まとめ 本意見は、朝霞市学校施設長寿命化計画（第2期）（素案）の方向性を支持した上で、建物としての長寿命化を確実に実現するための運用上の補足提案を行うものです。 これらの視点を計画の運用に反映することで、長寿命化改修の効果を最大化し、将来にわたる財政負担の抑制と、安定した教育環境の確保につながるものと考えます。</p>	<p>いただいたご意見及び情報は、今後の改修等の検討時の参考にさせていただきます。</p>	無